

鳥取市議会予算審査特別委員会文教経済分科会会議録

会議年月日	令和4年2月24日（木曜日）		
開会	午前10時44分	閉会	午後11時13分
場所	市役所本庁舎7階 第2委員会室		
出席分科員 (8名)	分科会長 田村 繁巳 副分科会長 朝野 和隆 分科員 岩永 安子 米村 京子 西村紳一郎 平野真理子 長坂 則翁 上杉 栄一		
欠席分科員	なし		
分科員外議員	なし		
事務局職員	調査係長 中川 真理 議事係主任 橋本 圭司		
出席説明員	<p>【農林水産部】</p> <p>農林水産部長 田中 英利 農政企画課長 山川 泰成 農政企画課課長補佐 蔵増 達弘 林務水産課課長 山口 真二 林務水産課課長補佐 下石 直生 農村整備課長 坂本 武夫 農村整備課課長補佐 大和谷雅人</p> <p>【農業委員会】</p> <p>事務局長 谷口 博信 局長補佐 田中 陽一</p>		
傍聴者	2人		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前10時44分開会

【農林水産部・農業委員会】

議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆田村繁巳分科会長 引き続き予算審査特別委員会文教経済分科会を開会します。

議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分を議題とします。

執行部より説明をお願いします。山川課長。

○山川泰成農政企画課長 農政企画課山川です。そうしますと農政企画課に所管する当初予算の概要について御説明をさせていただきます。

お配りしております資料2では15ページ、事業別概要では147ページから始めさせていただきます。

きたいと思います。それでは事業別概要 147 ページ、新規就農推進事業費 1,289 万 2,000 円お願いしております。こちらにつきましては新規就農者の確保・育成のための経費でありますとか、就農初期の経済的支援を行うというものでございまして、とっとりふるさと就農舎の研修を予定している 2 名の体験経費 492 万円、それから親元就農予定者 3 名の支援経費 170 万円、就農舎での研修受入れ経費、それからアグリスクール実施経費 545 万 2,000 円が主なものというふうになります。県支出金 113 万 3,000 円を特定財源で入れておりますが、こちらは親元就農経費の 3 分の 2 ということでございます。

続きまして、事業別概要 148 ページ、新規就農営農支援事業費 3,706 万円でございます。こちらは新規就農者の就農初期の経営支援を行うということでありまして、国の制度でございます農業次世代人材投資資金 8 名分 1,125 万円、同じく国の新しい制度であります新規就農者育成総合支援事業 3 名分 630 万円、農地賃借料の助成 5 名分で 51 万 6,000 円、就農条件整備事業として 5 名の就農者のビニールハウスとか、トラクター、耕作ベンチ等の設備補助に 1,586 万 2,000 円をお願いをしております。こちらについては県の支出金 3,080 万 8,000 円を充当しております。

続きまして、事業別概要 149 ページ、果樹振興対策事業費 2,023 万 9,000 円でございます。この事業は果樹の生産から出荷販売まで、県市協調して総合的に支援していくという事業でございます。梨の生産支援としまして 1,804 万円。ブドウの生産支援としまして 219 万 9,000 円を計上しております。

続きまして、事業別概要 150 ページ、みんなでやらいや農業支援事業費 1,500 万円でございます。意欲ある農業者等が計画的に行う事業に県市が協調し、支援するものでございますが、こちらにつきましては邑美地区と国府地区の認定農業者 2 件の作業道の新設を支援するというものでございます。

続きまして、その下、農産物販路拡大支援事業費 409 万 1,000 円でございます。関西を中心とした大都市圏の販路開拓ということで、地域商社ととつりを活用して生産者自らが PR できるマルシェや商談会等の開催の経費を計上しております。

それから事業別概要には載ってございませんが、資料 2 の 17 ページ、スマート農業実装加速化促進事業費 1,163 万 8,000 円を計上しております。こちらは鳥取、気高、河原地域の 5 名の生産者が行う自動運転つき田植え機、イチゴのハウス内センサーとか、自動草刈り機、ドローンなどの購入に県市が協調して支援を行うというものでございます。

続きまして、事業別概要は 151 ページ、もうかる 6 次化・農商工連携支援事業費 600 万円でございます。農林業者が生産から加工、販売まで行う 6 次化の取組に対しまして、県市協調で支援するものがございます。国府でのワイン冷蔵施設の整備に対する補助金を計上しております。

続きまして、事業別概要 152 ページ、和牛再生促進事業費 733 万 4,000 円でございます。和牛ブランドの向上と生産拡大を図るために繁殖雌牛の導入に県市協調で支援するものでございますが、外部からの購入に要する経費 19 頭分と自家保有の雌牛の生産に要する経費 14 頭分で 733 万 4,000 円を計上しております。

続きまして、事業別概要 153 ページ、農地集積等対策事業費 1,749 万 3,000 円でございます。現在、中間管理事業を活用しまして、担い手への農地集積を進めているところでございますが、農地中間管理機構に集積した際、集落や個人に支払われる協力金 760 万円のほか、関係する事務を行う会計年度任用職員の人件費等を計上しております。

続きまして、事業別概要 155 ページ、野生鳥獣被害防止事業費 1 億 270 万 8,000 円でございます。農産物の鳥獣被害防止のための経費として国県の財源を活用しつつ、事業を進めているところでございます。イノシシ、鹿等の捕獲奨励金として 4,090 万円、鹿の緊急捕獲として 3,235 万円、侵入防止柵等への補助として 1,259 万円計上し、そういったものが主な経費となります。

続いて事業別概要 155 ページ、減容化施設整備事業費 1,450 万 4,000 円でございます。先ほども申し上げましたが、現在、整備をしております減容化施設、来年度からは稼働が始まり、その維持管理経費ということになります。作業スタッフ 3 名の人件費、需用費等、そういった維持管理経費を計上しております。

簡単でございますが、農政企画課からは以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 山口課長。

○山口真二林務水産課長 林務水産課山口でございます。それでは林務水産課所管の事業について説明させていただきます。資料 2 でいきますと 20 ページからでございます。事業別概要は 156 ページからになります。

20 ページの上のほうでございます。市行造林維持管理費でございます。2,690 万 4,000 円をお願いしているものでございます。鳥取市が作成いたしました森林経営計画が平成 30 年から令和 4 年度まで 5 年間の期限としておりますけれども、こちらに基づきまして市有林市行造林の保育間伐等を行うものでございます。令和 4 年度は青谷町の八葉寺におきまして面積 9.01 ヘクタール、それと佐治町栃原に面積 4.88 ヘクタールの間伐等を実施したいということで計上させていただいておるところでございます。

続きまして、ページをはぐっていただきまして 22 ページまで飛んでいただけたらと思います。事業別概要は 158 ページの下段になります。森林経営管理事業費でございます。補正予算のほうでも話をさせていただきましたけれども、森林経営管理制度に基づきまして、経営管理が行われてない森林につきまして、所有者の意向に基づきまして能力のある林業経営者に再委託、もしくは市による管理を行うという事業でございますけれども、令和 4 年度は境界明確化を青谷町で、意向調査を青谷町と用瀬町で、集積計画の作成を青谷町と佐治町で行うこととしております。さらに森林経営管理実績配分計画に関わります選定委員会の開催経費を計上させていただいておるところでございます。予算要求額は 3,596 万 1,000 円でございます。

22 ページの一番下のほうでございます。造林事業費でございます。事業別概要では 159 ページ下段になります。森林整備を計画化・効率的に推進するために国県の補助事業にかさ上げするものでございます。補助率は 5%から 10%それぞれでございます。総トータルで間伐等を 2,785 万円、それと鹿の進入防護柵の設置、こちらのほうにつきまして 15 キロ余り 343 万 5,000 円を計上させていただいているところでございます。要求額は 2,998 万円でございます。

ページをはぐっていただきまして 23 ページの上のほうになります。治山事業のうちの単県斜

面崩壊復旧事業費でございます。事業費3,470万円でございます。事業別概要は161ページの上段でございます。国庫補助事業であります治山事業や急傾斜地崩壊対策及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象になりません崩壊した林地や急斜面におきまして崩落したものを復旧するというものでございます。令和4年度は長谷地内の個人宅の裏山の法面崩壊、洞谷地内の個人宅裏山の法面崩壊、青谷町桑原地内の法面崩壊の3か所の測量設計及び工事を予定しておりますところでございます。

続きまして、23ページの中段でございます。森づくり作業道整備事業費1,945万9,000円でございます。事業別概要は161ページの下段でございます。作業道等の整備を促進するために補助を行うものでございますけれども、作業道につきましては、国県の補助に鳥取市が普通林で17%、保安林に5%上乗せいたしましたして、トータル85%、地元負担が15%となるように補助を行うものでございます。本年度は普通林の作業道が27キロ余り、保安林の作業道が29キロ余り、合計57キロ150メートルを助成する予定にしております。その他林業専用道の整備にも補助をすることとしておりまして、林業専用作業道に2,450メートル、こちらのほうに助成をする予定としております。

23ページが一番下、林業・木材産業強化総合対策事業費3,748万4,000円でございます。事業別概要は163ページの上段でございます。意欲や能力のある林業形態に対しまして高性能の機械の導入等を支援するものでございます。令和4年度は高性能機械の導入でございまして、グラップルつきトラック、こちら東部森林組合に対しまして1台、ハーベスター、こちら光浪林業に対しまして1台、グラップル1台、こちら樹林業様に対して1台、プロセッサとグラップル各1ずつ、これはウエスト興業八頭様に対して助成をする予定としておりますところでございます。

続きまして、24ページ水産振興費になります。一番上、水産資源維持増殖事業費でございます。2,180万円でございます。事業別概要は162ページの下段でございます。水産資源の維持増殖による内水面漁業の振興及び千代川、湖山池の地域振興等に寄与するために放流等に助成をするものでございます。令和4年度はアユの放流事業費に1,137万円、その他千代川の溪流魚の放流とか、ふれあい放流等に助成することとしております。

その2つ下になりますでしょうか、漁業経営開始円滑化事業費3,014万円でございます。事業別概要は164ページの下段でございます。新規就業者が新たに漁業に就業する場合は漁船等、必要になってまいります。こういった漁船や漁具を購入し、漁業者にリースする事業でございます。令和4年度は4名で船を2隻、その他の機械器具等の購入に対して助成をするということとしております。

ページをはぐっていただきまして25ページ3つ目でございます。県営漁場環境緊急回復負担金69万9,000円でございます。こちら事業別概要はございませんけれども、今、本市の沿岸付近で紫ウニが大量発生しております。この紫ウニがかなり発生しておりまして、海藻等を食べてしまうということで、海が磯焼けというような状況で、海藻がなくなりまして魚が住めなくなるというような可能性がございまして、ここ2年間鳥取県のほうで緊急的に、集中的にウニの駆除を行いたいということがございまして、鳥取市の沿岸に関係いたしますところの負担金

を69万9,000円を行うものでございます。県が3分の2、市町村で3分の1を負担いたしまして、漁協等の負担なしに緊急的に支援を行うものでございます。

その3つ下、漁港施設機能保全事業費でございます。3,631万6,000円でございます。事業別概要でいきますと166ページの下段でございます。漁港施設機能保全計画に定めました対策事業を実施いたしまして、漁港の長寿命化を図るものでございます。本年度は船磯漁港の水域の保全工事、夏泊漁港の水域の保全工事、酒津漁港の機能増進工事を予定させていただいてるところでございます。

その下でございます。漁業研修事業費でございます。1,489万2,000円をお願いしとるところでございます。事業別概要は167ページの上段でございます。新規の漁船員等を雇用して研修生として漁業研修を行うものでございますけれども、本年度は新規1名、継続7名に対しましてその指導料等に対しまして助成を行うものでございます。なお、雇成型と独立型という2つに別れておりまして、いわゆる沖底船等に乗る船員のほうが雇成型なんですけれども、こちら3名、自分の船に乗って漁業を行う独立型、こちらのほうが5名を予定しておるところでございます。

林務水産課は以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 坂本課長。

○坂本武夫農村整備課長 農村整備課坂本です。それでは農村整備課に関わる部分で主なものについて御説明を申し上げます。資料の2は27ページからになります。

まず、水道事業会計への繰り出しということで事業別概要は167ページ下段になります。予算額が11億1,751万2,000円になります。これは水道事業経費のうち、簡易水道の統合等によりまして、増える負担分を水道事業会計へ繰り出しを行うものでございます。

続きまして、環境保全型農業直接支払交付金です。事業別概要は168ページ上段になります。予算額は756万円です。これは化学肥料や化学合成農薬の使用を原則5割以上低減する取組を行う組織に対しまして支援を行うものでございます。令和4年度は12組織、延べ108ヘクタールの取組を支援する予定としております。

続きまして、農道舗装補修等事業費になります。事業別概要は168ページの下段、予算額が3,211万3,000円です。これは農業用施設の小規模な補修であるとか、修繕、更新などを行う市単独の事業でございます。令和4年度は緊急補修業務委託であるとか、あと、大きいところでは大畑地区の排水施設修繕などを予定しております。

続きまして、県営事業負担金でございます。事業別概要は169ページ上段になります。予算額が6,621万9,000円です。こちらは農地、農業用施設に関わる県営事業の実施に伴います市の負担分を負担するものでございます。令和4年度は5事業9地区、いずれにつきましても継続事業となりますけれども、こちらの県営事業の負担をしてまいるものでございます。

資料2をはぐっていただきまして28ページになります。排水機場維持管理費です。事業別概要は169ページ下段、予算額が1,253万1,000円です。これは西円通寺と服部に設置しております排水機場の点検であるとか、維持管理に伴う経費でございます。

続きまして、28ページの一番下になります。危険ため池廃止事業費でございます。事業別概

要は170ページの上段です。予算額は800万円になります。これは既に農業用としての受益がなくなって利用されていないため池のうち、大雨で決壊したときに人命であるとか、人家に被害を及ぼす恐れのあるため池を開削して決壊の危険を排除するというものでございます。令和4年度は2か所のため池の廃止を予定しております。

資料2をはぐっていただきまして29ページになります。農業基盤整備促進事業費です。事業別概要は170ページの下段です。予算額は110万円になります。これは国庫補助事業で行う市営の農地であるとか、農業用施設の整備を行う事業でございます。令和4年度は令和2年度から継続して行っております河原町谷一木地区の区画整理事業を行うものでございます。

続きまして、ため池ハザードマップ作成事業でございます。事業別概要は171ページの上段になります。予算額は180万円です。こちらは防災重点農業用ため池に関する減災対策の一環としまして地元の皆さんにも御参画いただき、ため池が決壊した際を想定したハザードマップを作成いたしまして、緊急時の迅速かつ的確な避難行動につなげていただくことを目的として作成するものでございます。令和4年度は3か所のため池につきましてハザードマップの作成を予定しております。

続きまして、多面的機能支払事業費でございます。事業別概要は171ページの下段、予算額が2億273万1,000円です。これは地域が共同で行います農業施設や農地の保全活動を支援する事業でございます。組織の取組面積に応じまして、国県市が交付金を交付いたします。令和4年度は136組織、2,804ヘクタールの取組を支援する予定としております。

続きまして、農業水利施設保全高度化事業費です。事業別概要は172ページの上段、予算額が479万6,000円になります。これは農業用施設の長寿命化を図る、鳥取市が事業主体となる国の補助事業でございます。令和4年度は服部排水機場にございます排水ポンプの運転を制御いたします制御用の直流電源蓄電池の交換などを予定しております。

資料2をはぐっていただきまして資料2の30ページになります。中山間地域等直接支払事業費です。事業別概要は173ページの上段です。予算額が9,845万円になります。これは平地と比べまして耕作条件が不利な中山間地域等にあります農地の耕作条件の不利を補正するために、集落等を単位といたしまして、農地の維持管理を行う協定を締結し、協定に基づいて農地の保全を行う地域に支援を行うものでございます。令和4年度は111組織、749ヘクタールの取組について支援を行う予定としております。

以上です。

◆田村繁巳分科会長 谷口事務局長。

○谷口博信事務局長 農業委員会事務局谷口です。そうしますと農業委員会事務局に関わる令和4年度当初予算について説明をさせていただきます。

資料2の31ページを御覧ください。農業委員会歳出の総額は7,633万円となっております。主なものにつきまして説明をさせていただきます。資料2の31ページ上から3番目、総合農政推進費、農業委員会運営のための基本的活動経費といたしまして、事務費、会計年度任用職員報酬等ですけども、これにつきましては毎月1回行います総会でありますとか、年3回発行しております農業委員会だより、あと、研修、こういったものに係る経費550万4,000円をお願い

いするものでございます。

続きまして、ページをはぐっていただきまして、32ページのほうを御覧ください。上から3つ目、機構集積支援事業費、予算額は216万9,000円となります。事業別概要書は229ページの下段になります。これにつきましては農地法第30条の規定に基づき毎年耕作されていない遊休農地の把握であるとか、違反転用の発生防止のために市内全域の農地の利用状況を調査するということになっておりまして、この農地パトロールに係る経費でありますとか、会計年度任用職員の報酬、農地利用移行調査に係る事務費、こういったものになっております。

農業委員会事務局からは以上です。

- ◆**田村繁巳分科会長** 聞き取りにくかった点、用語の確認等ある方は举手願います。長坂委員。
- ◆**長坂則翁分科員** 坂本課長、さっき中山間地域等の直接支払交付金の関係、この事業別概要が誤りがあったってということで訂正しろってということだったんですよね、これね。ちょっともう1回正式な数字を教えてください。
- ◆**田村繁巳分科会長** 坂本課長。
- 坂本武夫農林整備課長** それでは事業別概要の173ページを御覧いただきたいと思います。中山間地域等直接支払交付金ということで、右側の事業の概要の中段、事業の内容・実績というところになります。中山間地域等直接支払交付金補助対象でございまして、111組織と書いてございます。それで、先ほどの説明ではヘクタール単位で申しあげましたけども、こちらはアール単位で訂正のほうをお願いいたします。7万4,933アールが正解でございます。失礼いたしました。
- ◆**田村繁巳分科会長** はい、ほかにございますか。
(「なし」と呼ぶ者あり)
- ◆**田村繁巳分科会長** ないようでございますので、以上で農林水産部・農業委員会に関する部分を終了し、予算審査特別委員会文教経済分科会を閉会します。
執行部の皆さんは御退室ください。委員の皆様しばらくお待ちください。

午前11時13分 閉会

**文教経済委員会・
予算審査特別委員会 文教経済分科会 日程**

日時：令和4年2月24日（木）10：00～

場所：7階 第2委員会室

農林水産部・農業委員会 (10:00～)

----- <文教経済委員会> -----

◎議案（先議分）【説明・質疑・討論・採決】

議案第23号 令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第15号）【所管に属する部分】

----- <予算審査特別委員会 文教経済分科会> -----

◎議案【説明】

議案第5号 令和4年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

----- <文教経済委員会> -----

その他

令和4年度文教経済委員会視察について